

校長室だより



令和3年6月8日
校長 斎藤 瑞穂

だれにも「たった一つのいのち」 でも、「一つ」だけど「一人のもの」?

命は、生き物すべてに等しく、一つずつ与えられています。だれにとっても、「たった一つの命」です。しかし、この命は、「一つ」ですが「一人のもの」でしょうか。

みなさんが生まれたのは、お父さんとお母さんがいたからですね。そして、お父さんとお母さんにも、それぞれお父さん、お母さん、みなさんにとってはおじいさんとおばあさんがいます。一人の子どもに二人のおとうさん・おかあさん、そして四人のおじいさん・おばあさん。さらに八人のひいおじいさん・おばあさん、さらにさらに十六人のひいひいおじいさん・おばあさん・・・ここまでで、100年くらいをさかのぼっていますが、もう三十人の命がかかわっています。みなさん一人が生まれるまでに、いったいどれだけの人が命をつないできたのでしょうか。

そう考えると、自分の命は自分のものだけれど、自分一人だけのものではないという気持ちになりませんか。



生命の源?

リュウグウの砂にアミノ酸

2020年12月、小惑星探査機はやぶさ2が地球に持ち帰ったリュウグウ(地球と火星の間を回る小惑星)の砂。なんとその砂から、生命の材料となる種類のアミノ酸が見つかったことがわかりました。



「地球上にどのように生命が誕生したのか」というなぞに迫るに大きな一歩です。

以前校長室だよりで「リュウグウから玉手箱」と紹介しましたが、はやぶさ2が大変な苦労の末持ち帰ったカプセルは、まさに玉手箱でした。



はやぶさ2が持ち帰った
「リュウグウの砂」

生命の起源を解き明かすための研究に、日本の科学の力が大いに役立っていることを知ると、嬉しい気持ちになりますね。

なんと読むでしょう?

○○○○ 蝙蝠

久しぶりの漢字クイズです。昨年のちょうどこの時期、七十二候で紹介しましたので、今回はヒントなしです。正解できるかな?

保護者の皆様

今月は「杉並区いのちの教育月間」です。子どもたち一人一人がいのちの尊さについて考える時間をつくりています。

回答用紙

(クイズの答え)

年 組
名まえ